

【研究概要】

てんかん性異常波は棘波、鋭波の形態を呈するためとがり具合の指標である尖度が高く、尖度解析を行うことで、脳波上の棘波、鋭波を同定し、異常波の発生源を推定できる可能性がある。そのため、この度、臨床で測定した部分てんかん患者の脳波データを用いて、この尖度解析によるてんかん性異常波の発生源推定の正確性を検証するための研究である。